



2022年9月、英国のエリザベス女王が逝去されたニュースは世界中を駆け巡りました。1952年に25歳で即位されてから70年余にわたり英国ならびに英連邦を統治した女王でした。厳粛にして、大多数の英国国民が心から別れを惜しんだ真の国葬は海外にも広くテレビ中継されました。

英国切手に興味関心がない人でも、エリザベス女王の胸像が描かれた国名のないカラフルなマーチンシリーズの普通切手を一度は見かけたことがあるでしょう。(ちなみに英国は郵便制度発祥、郵便切手発祥の栄誉により、郵便切手に国名を入れなくてもよい特権を持つ唯一の国です)

1967年の12進法時代から連綿と発行され続けた普通切手シリーズですが、その中でも最大のエラー切手が上のものです。この切手は、比較的最近の2003年7月に発行された、ハリソン・デラルー社製グラビア印刷の2ポンド切手で、ペアの左側の切手は額面単位を表わす「£」(ポンド)の文字が抜け落ちています。ある特定の実用版シートの上から18段目の左端のポジションにあるものですが、長期間同じデザインの切手を発行していると、いつしかこんなミスも発生するということでしょうか。

(記：藤岡 靖朝 (日本郵楽会会員))